

自己点検・評価シート

整理No.	1-(1)-②	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	小学校外国語活動人材支援事業	所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校
意図 (どのような状態にするために)	外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地の育成を図る。
手段 (どうするのか)	小学校5・6年生の外国語活動の授業において、英語力のある地域人材を活用し、1学級あたり年間8時間分の指導援助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	人材派遣	人材派遣	各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、5、6年生1クラスあたり8時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う	各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、5、6年生1クラスあたり8時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う	各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、5、6年生1クラスあたり8時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う	
	年度別実績	39校で945回派遣した	38校で975回派遣した	38校で1,015回派遣した	37校で885回派遣した	/	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,881	3,930	3,995	3,717	2,484	
	直接経費 A	2,382	2,445	2,538	2,213	2,484	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他					
一般財源	2,382	2,445	2,538	2,213	2,484		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504			
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20		
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00		

4. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要 小学校外国語活動のねらいであるコミュニケーション能力の素地の育成を図るために、外国語活動の授業を補助する地域人材を活用し、小学校の外国語活動の円滑な実施と充実した外国語活動の実践を行う。</p> <p>2 事業の成果 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介を受けたりして、5・6年生1クラスあたり、年間8時間分の外国語活動授業において指導の補助を行う。 37校 885回実施</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	派遣回数	回	目標	1064	1,144	1,088	1,112	1,656
				実績	945	975	1,015	885	
	(指標の説明) 小学校外国語活動への人材派遣回数								
	2		目標						
		実績							
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	派遣回数	回	89%	85%	93%	80%	
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	グローバル化に対応した英語教育が求められる中で、小学校5・6年生を対象に地域人材等を活用して外国語活動を展開することは子どもたちの英語を活用したコミュニケーション能力の素地を養うものと考えられる。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	年々、活用時間数も増加している。今後も学校現場から人材支援の要請が増えていくものと思われる。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国の動静等から考えても、今後ますます英語教育の充実が求められる。本市の状況から考えると、行政が支援して地域人材を発掘し、学校現場に提供する仕組みは必要である。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての学校を対象としている。希望した学校は40近くあり、今後も増加するものと思われる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input checked="" type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	国の動向や小学校での外国語活動を中学校での外国語の学習に効果的につなぐためにも、地域の人材や留学生を活用した支援事業は効果的である。ネイティブスピーカーに触れることにより、外国語や外国に対する興味・関心を高め、中学校での学習をより意欲的なものにするに期待される。			
今後の課題・方向性	担任単独の授業に加えて、外国語に堪能な地域人材やネイティブスピーカーとふれ合うことは、児童が外国語を通してコミュニケーション能力の素地を養うために大変効果的である。また、必要に応じて、外国語活動支援員の研修を行い、小学校外国語活動の趣旨に沿った指導力の向上を図っていくことが必要である。			

9. 学識経験者の所見

【評価結果】

評価コメント	小学校での外国語活動は学習開始時期を早めることにより英語力を高められるメリットと同時に、英語の必要性の自覚が少ない状態で始めることにより英語嫌いを増やし、英語苦手意識を増すといったデメリットもある。支援する人材はネイティブや、英語が得意な人材と言うだけでは駄目で、英語を小学生に教えるためのメソッドを熟知している必要がある。きちんとした事前事後研修等によりこの点の対応をお願いしたい。
--------	--

【評価結果】

評価コメント	派遣回数でみた活動指標には現れていないが、本事業に関する指導協力者の教育能力向上に向けた取り組みが行われていることは事業全体の質的向上を図るものとして評価できる。活動量のみならず、こうした質的な側面への配慮が反映される評価となることを期待したい。
--------	---